

# 琉球大学学術リポジトリ

内頸動脈の海綿静脈洞部または錐体部の狭窄に対する、血管形成術もしくはステント留置術の長期成績

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学 公開日: 2014-06-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 伊藤, 公一, Ito, Koichi メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/28996">http://hdl.handle.net/20.500.12000/28996</a>

(別紙様式第3号)

## 論 文 要 旨

論 文 題 目

Long-term outcome of angioplasty or stent placement for stenosis of the cavernous or petrous portion of the internal carotid artery

(内頸動脈の海綿静脈洞部または錐体部の狭窄に対する、血管形成術もしくはステント留置術の長期成績)

氏名 伊藤 公一 

内	頸	動	脈	の	海	綿	静	脈	洞	と	錐	体	部	の	狭	窄	に	対	す
る	経	皮	的	血	管	形	成	術	お	よ	び	血	管	内	ス	テ	ン	ト	留
置	術	は	有	効	で	あ	る	。	し	か	し	長	期	予	後	に	つ	い	て
は	不	明	で	あ	る	。													
	本	研	究	の	目	的	は	、	内	頸	動	脈	の	海	綿	静	脈	洞	と
錐	体	部	の	狭	窄	に	よ	り	、	脳	血	流	が	反	対	側	と	比	べ
て	20	%	の	低	下	を	認	め	た	、	50	%	以	上	の	狭	窄	病	変
に	対	す	る	血	管	形	成	術	お	よ	び	血	管	内	ス	テ	ン	ト	留
置	術	の	長	期	予	後	を	評	価	す	る	こ	と	で	あ	る	。		
	症	例	は	2000	年	4	月	か	ら	2009	年	3	月	ま	で	の	54		
例	で	あ	る	。	男	性	43	例	、	女	性	11	名	で	年	齢	は	51	歳
か	ら	78	歳	ま	で	で	あ	っ	た	。	海	綿	静	脈	洞	部	の	狭	窄
が	13	例	、	錐	体	部	の	狭	窄	が	41	例	で	あ	っ	た	。	ま	た
32	例	は	無	症	候	性	で	あ	っ	た	。	全	例	ア	ス	ピ	リ	ン	の
内	服	を	行	っ	て	お	り	、	そ	の	他	チ	ク	ロ	ピ	ジ	ン	や	シ
ロ	ス	タ	ゾ	ー	ル	な	ど	の	抗	血	小	板	剤	も	追	加	し	て	、
術	前	か	ら	2	剤	併	用	と	し	て	い	た	。						
	54	例	中	13	例	が	経	皮	的	血	管	形	成	術	、	41	例	が	血
管	内	ス	テ	ン	ト	留	置	術	を	施	行	し	た	。	永	続	性	の	障
害	が	2	例	、	一	過	性	の	障	害	が	5	例	で	認	め	ら	れ	、

